

プレインズウーマンの21



牡 2021年4月8日生 | 鹿毛 | 栗東・寺島良厩舎 | 谷川牧場生産

一口価格： **24,200円** ※2023年保険料 775円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 1,210万円】



POINT

JRAで勝ち上がったクラブ所属馬ミーナティエルナの半弟になります。本馬は父がドゥラメンテからキンシャサノキセキに変わりましたが、血統のイメージとはうらはらに、むしろスラリとした印象で馬体のバランスの良さが光ります。短距離馬の父の産駒ですが、無駄のないプロポーション、聡明な顔つきからは長い距離もこなせそうな雰囲気も醸し出しています。スピードを生かして芝ダートを問わない短距離路線か、レースを経験しながら心身を成長させてクラシック路線か、見る側の想像力を膨らませてくれる楽しみな存在です。

治郎丸敬之の馬体診断

母の初仔は当クラブ馬で、今年8月に勝ち上がり、2番仔はセレクトセールにて取引された期待馬です。3番仔となるプレインズウーマンの21は牡馬に出たこともあり、現時点での馬体重こそ軽いものの、筋肉量の豊富な力強い馬体を誇っています。前後肢の筋肉の付き方のバランスも良いですね。上の2頭には牝馬らしい線の細さがあったのとは対照的です。父キンシャサノキセキの産駒は基本的に早熟であり、即戦力として走り出せるような馬体の成長や完成が早い馬を狙うべきです。キンシャサノキセキ産駒については、募集時における見栄えの良さと実際に走る馬は、かなりの確率で一致するのではないのでしょうか。具体的に言うと、筋肉量が多くてメリハリのある、いかにもパワーとスピードに溢れているように映る馬体です。プレインズウーマンの21は上の姉たちと比べても完成度が高く、まさにキンシャサノキセキの走る産駒の特徴を示しています。課題としては、馬体がもうひと回りふた回り成長して、さらに筋肉のメリハリが増し、馬体重が増えてくることでしょうか。そうすれば、芝の短距離だけではなく、ダート戦線にも活躍の場が広がるはずです。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。